



Cisco Unity Connection Web Inbox

2015 年 5 月発行

- [Cisco Unity Connection Web Inbox について \(1 ページ\)](#)
- [Web Inbox のコントロール \(2 ページ\)](#)
- [\[受信トレイ フォルダのメッセージ\] 領域 \(3 ページ\)](#)
- [音声コントロール \(5 ページ\)](#)
- [新しいメッセージの作成 \(6 ページ\)](#)
- [削除済みフォルダ \(8 ページ\)](#)
- [送信済みフォルダ \(9 ページ\)](#)
- [Web Inbox を使用するための各種設定 \(9 ページ\)](#)

Cisco Unity Connection Web Inbox について

Cisco Unity Connection Web Inbox では、ボイス メッセージ自体と受信したボイス メッセージの開封確認を管理できます。新しいボイス メッセージの作成、受信したボイス メッセージの再生、返信、転送、または削除ができます。

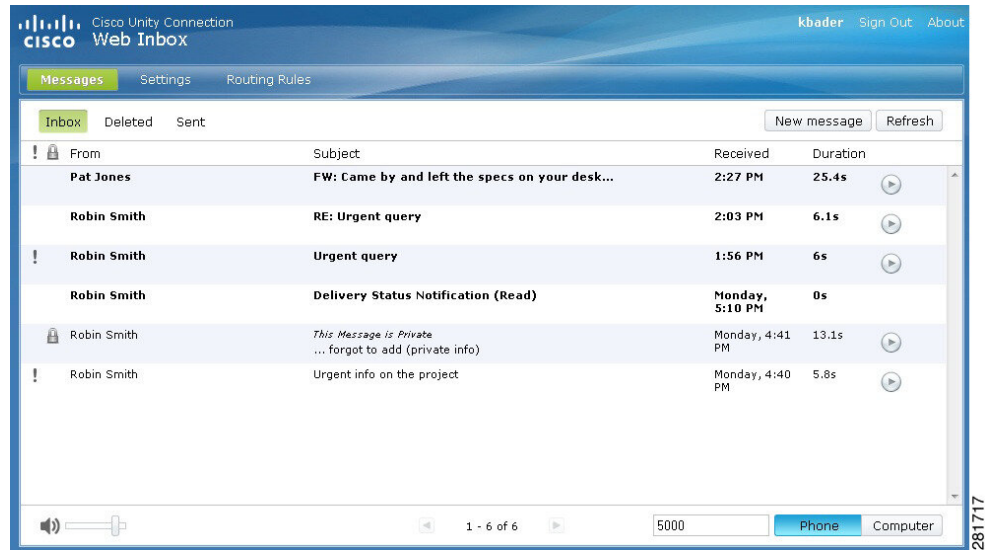
Unity Connection では、電話での録音および再生 (TRAP) を介してすべてのビデオメッセージを再生するための追加機能を提供しています。この機能を使用すると、Unity Connection で受信された新しいビデオメッセージを再生できます。Unity Connection 12.5 (1) にアップグレードする前に受信されたビデオ メッセージは、音声としてのみ再生されます。

インターネットブラウザを使用して <http://<Cisco Unity Connection server>/inbox> [英語] に移動して Web Inbox にアクセスします。(URL の大文字小文字は区別されます)。

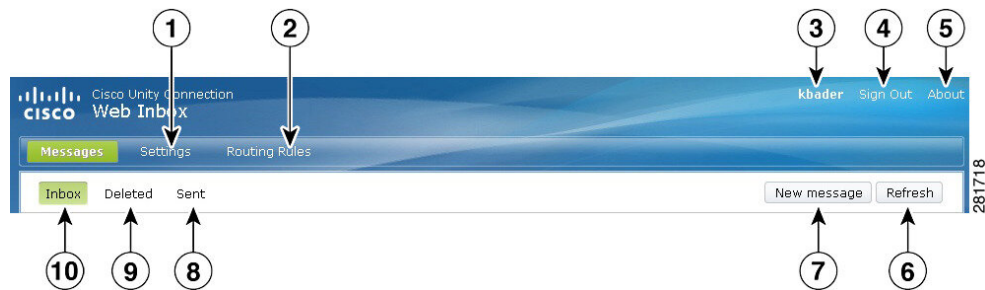


ワンポイントアドバイス

Web Inbox にアクセスするたびに Web アドレスを入力する必要がなくなるように、Web Inbox の URL をブックマークします。



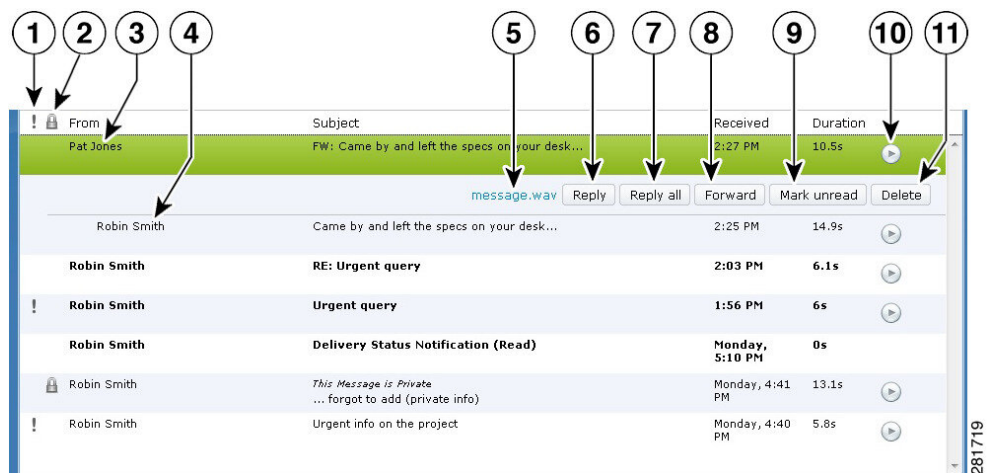
Web Inbox のコントロール



1	<p>新しいブラウザウィンドウまたはタブで Messaging Assistant を開きます。</p> <p>(注) ツールへのアクセス権がない場合はこのボタンは表示されません。</p>	6	<p>現在のページの情報を更新します。</p>
---	--	---	-------------------------

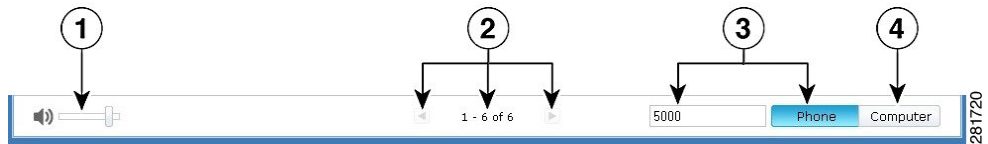
2	新しいブラウザウィンドウまたはタブで Cisco Unity Connection パーソナル着信転送ルール Web ツールを開きます。 (注) ツールへのアクセス権がない場合はこのボタンは表示されません。	7	新しいボイスメッセージを作成します。
3	(表示のみ) サインインしているアカウント。	8	送信済みフォルダ内のメッセージを表示または管理します。
4	Web Inbox からサインアウトして [サインイン] ページに戻ります。	9	削除済み項目フォルダ内のメッセージを表示または管理します。
5	Web Inbox 情報を表示します。	10	受信トレイフォルダ内のメッセージを表示または管理します。

[受信トレイ フォルダのメッセージ]領域



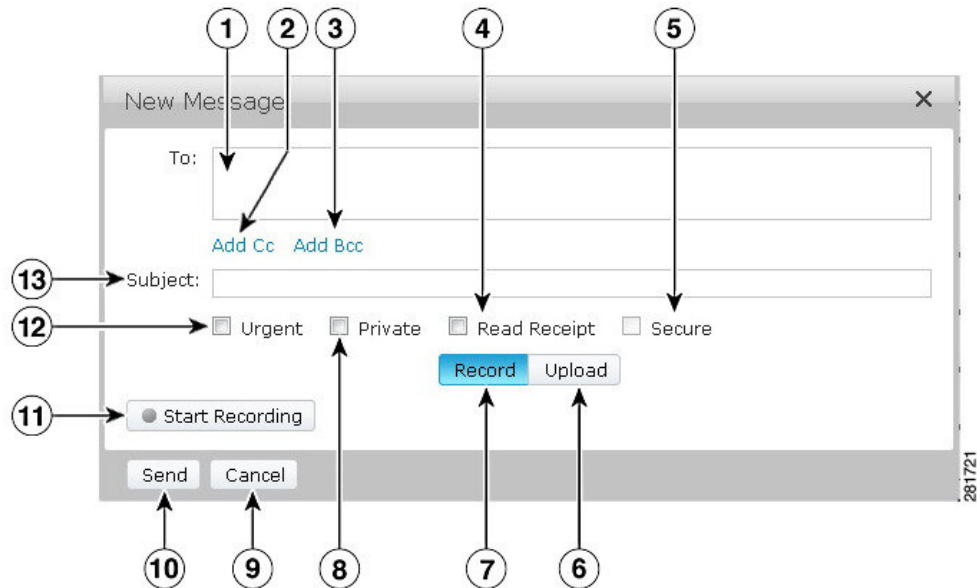
1	メッセージに緊急マークが付いていることを示します。	7	送信者とすべての受信者に返信します。
2	メッセージにセキュアのマークが付いていることを示します。	8	メッセージを転送します。
3	メッセージリストでメッセージを選択すると、メッセージが強調表示され、メッセージオーディオのダウンロード、メッセージの返信、転送などの追加のコントロールが利用可能になります。	9	メッセージを未開封にします。
4	転送されたメッセージを選択すると、最初の部分が再生されます。元のメッセージがメッセージの最初の部分の下に単独のインデントされたエントリとして表示されます。	10	メッセージオーディオを再生、または再生を一時停止します。
5	右クリックをすることで、メッセージオーディオをダウンロードしてコンピュータにファイルを保存できます（このオプションは、セキュアのマークが付いたメッセージでは利用できません）。	11	メッセージを削除する。（管理者が削除されたメッセージを一時的に保存するようにメールボックスを設定している場合は、この操作によってメッセージが削除済みフォルダに移動します）。
6	送信者にのみ返信します。		

音声コントロール



1	オーディオの再生音量を変更します。（コンピュータが再生と録音デバイスとして選択されている場合にのみ利用可能です）。	3	Cisco Unity Connection が、テキストボックスに入力された、録音を作成またはオーディオを再生する内線番号またはURIでユーザを呼び出します。電話機のハンドセットまたはスピーカーフォンで話したり聴くことができます。
2	フォルダ内のメッセージ数が表示され、フォルダ内に 25 件を超えるメッセージがある場合はメッセージのページをスクロールします。	4	録音を作成またはオーディオを再生するために、コンピュータのマイクとスピーカまたは他のデフォルトのオーディオデバイスを使用して接続が行われます。

新しいメッセージの作成



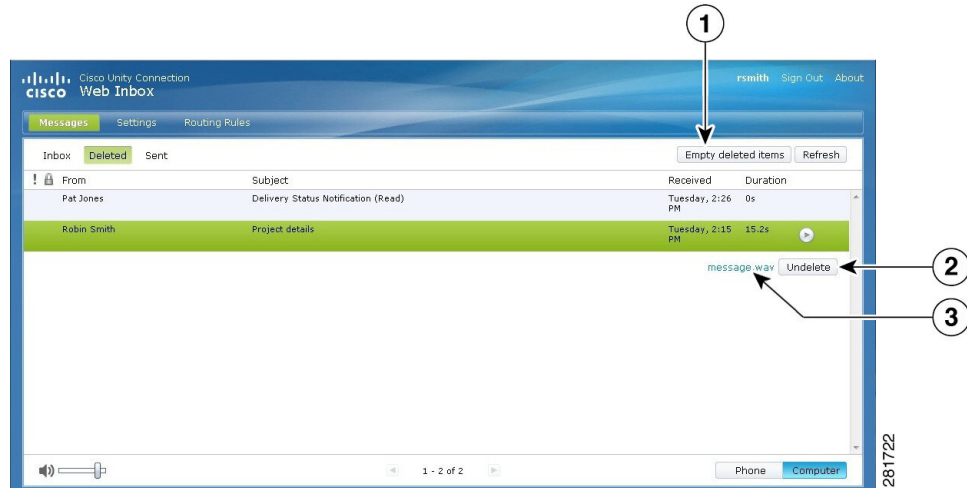
1	ユーザの名前の最初の1つ以上の文字を入力します（名、姓、またはユーザ名）。Cisco Unity Connectionが入力と一致する名前のユーザを自動的に提示します。	8	メッセージをプライベートにします。
2	[Cc 受信者] フィールドを開き、メッセージのコピーを受け取る追加の受信者を入力します。	9	送信または保存せずにメッセージを削除します。
3	[Bcc 受信者] フィールドを開き、メッセージのブラインドコピーを受け取る追加の受信者を入力します。	10	メッセージを送信します。

4	メッセージの開封確認を要求します。	11	録音モードでは、[録音開始]を選択して、電話機またはコンピュータのオーディオデバイスを使用します。 アップロードモードでは、[ファイルのアップロード]（この図には表示されていません）を選択して、事前録音済みのオーディオファイルを使用します。
5	メッセージをセキュアにします（メールボックスの設定によって、このオプションが利用できなかったりすでに選択されている場合があります）。	12	メッセージを緊急にします。
6	アップロードモードを選択します。	13	メッセージの件名を入力します。
7	録音モードを選択します。		



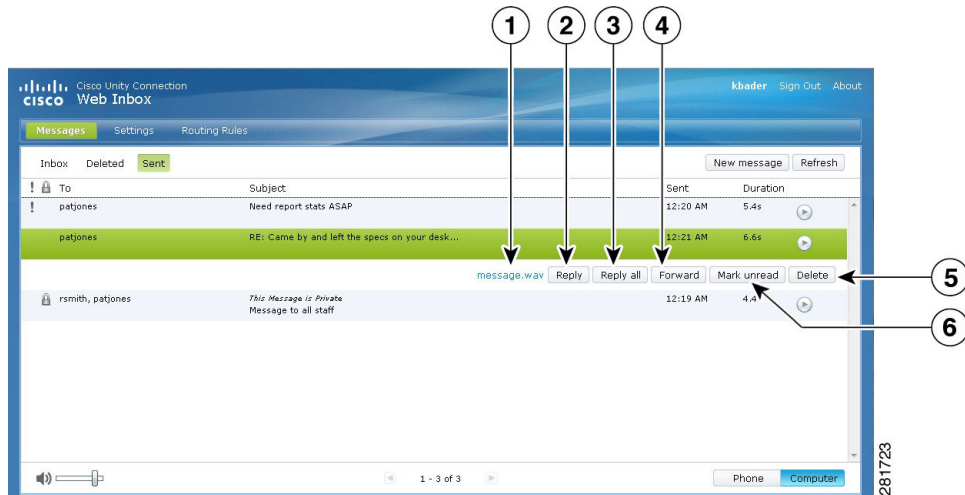
(注) 新規メッセージの作成中に Mozilla FireFox ブラウザでセキュリティ アラートが表示される場合は、今後アラートが表示されないように[証明書の表示]をクリックして証明書をインストールします。

削除済みフォルダ



1	削除済みフォルダ内のすべてのアイテムを完全に削除します。	3	右クリックをすることで、メッセージオーディオをダウンロードしてコンピュータにファイルを保存できます（このオプションはセキュリティで保護されたメッセージでは利用できません）。
2	選択されたメッセージを受信トレイフォルダに戻します。		

送信済みフォルダ



1	右クリックをすることで、メッセージオーディオをダウンロードしてコンピュータにファイルを保存できます（このオプションはセキュリティで保護されたメッセージでは利用できません）。	4	メッセージを転送します。
2	送信者にのみ返信します。	5	メッセージを完全に削除します（送信済みメッセージは、削除済みフォルダに移動されません）。
3	送信者とすべての受信者に返信します。	6	メッセージを未開封にします。

Web Inbox を使用するための各種設定

IPv6 の場合、異なる OS で Web Inbox にアクセスするには、すべてのブラウザで次の項に示す手順を実行する必要があります。次の項を参照してください。

[Firefox 3.6 を使用して MAC オペレーティング システムで Web Inbox を開く](#)（10 ページ）

[Safari を使用して MAC オペレーティング システムで Web Inbox からメッセージを再生する](#) (11 ページ)

[Chrome での \[録音開始\] ボタンの有効化](#) (11 ページ)

[Firefox での \[録音開始\] ボタンの有効化](#) (12 ページ)

[Internet Explorer での \[録音開始\] ボタンの有効化](#) (12 ページ)



(注) 上記の項に示す手順は、各 Connection サーバで最初だけ実行する必要があります。

Firefox 3.6 を使用して MAC オペレーティング システムで Web Inbox を開く

ステップ 1 アドレス バーに IPv6 アドレスを入力して Web Inbox を開きます。接続の構文を次に示します。

構文

```
https://<Connection_ipv6_address>/inbox
```

ポップアップウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [証明書を表示] ボタンをクリックします。

ステップ 3 ["<Connection_ip>"への接続時は常に"<Connection_hostname>"を信頼する] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [信頼する] を展開し、[この証明書を使用する場合] ドロップダウンリストから [常に信頼する] を選択します。

ステップ 5 [ルート証明書 (Certificate Root)] 証明書をデスクトップにドラッグします。

ステップ 6 [ルート証明書 (Certificate Root)] をキーチェーンアクセスにドラッグします。

ステップ 7 [証明書のルート] をダブルクリックします。ポップアップ ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 Firefox 3.6 を使用して Web Inbox を開くには、[常に信頼する] ボタンをクリックします。



(注) 上記に示す手順は、各 Connection サーバで最初だけ実行する必要があります。

Safari を使用して MAC オペレーティング システムで Web Inbox からメッセージを再生する

- ステップ 1** 再生したいボイスメールの「message.wav」ファイルを右クリックして、**[新しいタブで開く]** を選択します。**[認証]** ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** **[認証]** ダイアログボックスにユーザのログイン情報を入力します。
[認証] ダイアログボックスの**[このパスワードを記憶]** チェックボックスをオンにし、Web Inbox でメッセージを再生するときにエラーが発生しないようにします。
- ステップ 3** Web Inbox の再生ボタンをクリックします。新しいポップアップ ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** ポップアップ ウィンドウで**[常に信頼する]** を選択します。
- ステップ 5** Web Inbox の再生ボタンをクリックしてメッセージを再生します。

Chrome での [録音開始] ボタンの有効化

- ステップ 1** アドレス バーに Web Inbox の URL を入力します。
- ステップ 2** アドレスバーの一番左端にあるロックアイコンをクリックします。ポップアップウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ポップアップ ウィンドウの**[証明書情報]** をクリックします。**[証明書 (Certificate)]** ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** **[証明書]** ダイアログボックスの**[詳細]** タブをクリックします。
- ステップ 5** **[ファイルにコピー]** ボタンをクリックします。**[証明書のエクスポート ウィザード (Certificate Import Wizard)]** が表示されます。
- ステップ 6** **[次へ (Next)]** をクリックします。
- ステップ 7** 証明書をエクスポートする場所に移動します。
- ステップ 8** **[OK]** をクリックします。証明書のエクスポートが正常に行われたことを確認するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 9** **[OK]** をクリックします。
- ステップ 10** Chrome ブラウザの一番右端にある**[設定]** アイコンをクリックします。**[設定]** ページが表示されます。
- ステップ 11** **[設定]** ページの左側のペインで**[詳細設定]** オプションをクリックします。
- ステップ 12** **[証明書の管理 (Manage certificates)]** をクリックします。**[証明書]** ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 13** **[中間証明機関]** タブをクリックします。
- ステップ 14** **[インポート (Import)]** をクリックします。**[証明書インポートウィザード]** が起動します。
- ステップ 15** 証明書をエクスポートした場所に移動して、**[証明書]** を選択します。
- ステップ 16** **[開く (Open)]** をクリックします。証明書のインポートが正常に行われたことを確認するダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 17 [OK] をクリックします。
 - ステップ 18 アドレス バーに Web Inbox の URL を入力します。
 - ステップ 19 ボイスメールの送信時に、[録音開始] ボタンが有効になっていることを確認します。
-

Firefox での [録音開始] ボタンの有効化

- ステップ 1 Firefox ブラウザを開きます。
 - ステップ 2 [ツール (Tools)] > [オプション (Options)] をクリックします。
 - ステップ 3 [セキュリティ] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [セキュリティ] タブの最初のセクションにある [例外] をクリックします。[許可されたサイト - アドオンインストール] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 5 [Web サイトのアドレス] フィールドに接続のホスト名を入力します。
-

Internet Explorer での [録音開始] ボタンの有効化

- ステップ 1 Internet Explorer ブラウザを開きます。
 - ステップ 2 [ツール (Tools)] > [インターネットオプション (Internet Options)] をクリックします。
 - ステップ 3 [セキュリティ] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください] セクションで [信頼済みサイト] をクリックします。
 - ステップ 5 [サイト (Sites)] をクリックします。
 - ステップ 6 [この Web サイトをゾーンに追加する] フィールドに接続 URL を入力します。
-